

総合的な学習の時間「わくわくタイム」評価基準（4年生）

単元名		「ふるさと矢作橋」	
単元目標		<ul style="list-style-type: none"> ・ 矢作橋周辺の郷土の伝説や史跡について調べる活動を通して、郷土への愛着を持つことができる。 ・ 新しい橋の工夫を知ることによって環境や安全を守る人々の努力に気づくことができる。 ・ 調査活動から、課題を見つけ、根拠を明確にして、探究活動を行うことができる。 	
評価基準・評価方法	育てたい力	評価基準	単元の評価基準
	課題設定力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な事象に関心を持ち、体験を通して、自分なりの気づきや疑問、考え方を持つ。 ・ 課題を達成するために見通しを持ち、計画を立てることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 橋の建設に携わっている人たちの、努力や工夫や大きさに気づくことができる。 ・ 矢作橋の今と昔の違いに気づく。 ・ 矢作橋の歴史や、今の現状を調査し、これからの矢作の橋や町をよりよくするための課題を見つけることができる。
	課題探究力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題解決のために必要なものを見つけ、積極的に関わろうとする。 ・ 課題解決に向けて、計画を立て、また修正を加えながら粘り強く活動することができる。 ・ 課題に対する情報を、聞き取りやインターネット、文献などの調査方法の中から適宜選択し収集しながら探究活動を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題に対して、調査する計画を一人一人、立てることができる。 ・ 橋や橋の周りにある史跡について、聞き取りや資料を活用して、継続的に調べることができる。 ・ 矢作橋や、矢作の移り変わりなどについて、地域の方から聞き取りや、文献などの調査を適宜選択して探究活動を行うことができる。
	課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いの活動において、話し手の考えを自分の考えと比較しながら聞くことができる。 ・ 話し合い活動後、話し合ったことを生かし、自分の考えを深めたり広げたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 矢作橋や矢作の地域の担ってきた役割の大切さに気づき、自分の考えを持つことができる。 ・ 矢作橋建設にあたっている人々から聞き取った工夫や考えを理解し、自分の考えの再構築に生かすことができる。
	表現力・発信する力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収集した情報を整理、分析してまとめることができる。 ・ 具体的な資料を提示しながら、音声言語表現力を使い、分かりやすく発表することができる。 ・ 伝える手段を吟味し、課題に合った発信方法を展開することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収集した情報を取捨選択し、必要な資料をまとめることができる。 ・ 伝えたい内容を選択し、分かりやすくまとめて伝えることができる。 ・ 調査した内容を踏まえて、資料を提示しながら、同じ学年や、下級生に発表することができる。
実践力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動を通して、社会と自分の関わりについて気づき、学習したことを自分の生活の中に生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元を通して、矢作橋が歴史的に担ってきた役割や、地域の方々が守ってきた伝統や歴史について理解をし、自分も地域を支える一人になりたいという気持ちを持って、行動に移せる。 	